

Cente Technical Information

発行番号	101-0083	Rev	第1版	発行日	2014/01/22
題名	追記モードで開いたファイルに正しく追記できない不具合について (メタデータ保護機能使用時)				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00～Ver6.10				
影響API	fputs, fwrite				
関連資料	なし				

【現象】

以下の条件でファイルを開き追記した場合、正しくファイルに追記できません。
又、現在のファイルサイズ以上書き込んだ場合は、FATとディレクトリエントリの不整合が発生します。

【発生条件】(本不具合は以下の条件がそろった時に発生します)

- (1) fs_cfg.h で#define FS_JOURNAL 1 にしメタデータ保護機能を有効でビルドした時。
- (2) ini_journal()でメタデータ保護管理ファイルを作成した時。
- (3) "a"もしくは"a+"モードでファイルを開いた時。
新規に開いた場合の初回の書き込みは正常に書き込めます。
- (4) fseekで読み書き位置をファイルの先頭方向に移動した時。
- (5) (現在の読み書き位置 + 書き込みサイズ) < ファイルサイズ だった場合の書き込みの時。

【原因】

メタデータ保護機能ではFATやサイズに変更が生じない書き込みの場合、保護動作を行いません。保護するか否かは(現在の読み書き位置 + 書き込みサイズ)とファイルサイズの比較で行います。"a","a+"モードは、追記動作なので必ずメタデータ保護動作を行わなければなりません、モードと無関係に比較を行い、保護動作しない判定状態で書き込みを行っていました。

【回避方法】

■運用での回避方法

・fseekにてファイルの終端に移動後、fputsもしくはfwriteを実行してください。

■プログラム修正による回避方法

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上